

1. 件名：「日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所
第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリング（４８）」
2. 日時：令和３年９月１３日（月） １０時００分～１０時５５分
3. 場所：原子力規制庁 １０階会議室（TV会議により実施）
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部
（原子力規制部新基準適合性審査チーム）
核燃料施設審査部門
古作企画調査官、菅生主任安全審査官、松田安全審査官、大塚安全審査
専門職、河原崎安全審査専門職
研究炉等審査部門
前田安全規制調査官
日本原子力発電株式会社
廃止措置プロジェクト推進室 部長 他１１名
5. 自動文字起こし結果：
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
提出資料
なし

参考

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成２７年７月１６日）
「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書を受理」
<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/0000045.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成28年12月26日）
「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書の一部補正を受理」
<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/dis closure/law/WAS/00000170.html>
- ・ 令和3年8月27日
「日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 第二種廃棄物埋設事業許可申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	原子力規制庁のスゴウです。それではただいまより平成 27 年 7 月に日本原燃株式会社から申請のありました東海低レベル放射性廃棄物事業許可に関わるヒアリングを始めたいと思います。
0:00:21	ヒアリングの前注意事項としまして、本日録音による文字起こしを実施しますので、発言の前には、所属名前をはっきりとおっしゃってください。それからあと、
0:00:36	機密事項等に関わる発言をされた場合には、まず発言をしないようにいただきましていただければと思いますが、万が一発言した場合には当該部分について、明らかにして訂正をお願いいたします。
0:00:56	それでは本日の
0:00:59	出席者につきまして、原子力規制庁からですが、核燃料施設審査部門より
0:01:07	コサクオツカ河原崎マツダ a スゴウ、それから、研究炉等審査部門よりマエダが本日参加しております。日本原燃から参加者の紹介をお願いいたします。
0:01:24	原電ノグチでございます電源のほうですね本店側の廃止措置プロジェクト推進室からはノグチムラカミ、コアシcホウチンタナカ
0:01:36	ハママツノムラ、タケコシ、マツオカa条 9 名でございます。そのうちハママツあるので参加してございます。それから同じく本店側ですけど、開発計画率からサカガミにフジワラないってサカガミは、
0:01:51	いや、今きておりますのでこちらのほうにおりますんで、以上二名ですね、それから東海からですねオニザワ 1 名参加してございます。
0:01:59	合計 12 名でございます。以上でございます。
0:02:03	規制庁のスゴウです。
0:02:06	それでは本日のヒアリングを始めたいと思います。本日のヒアリングですが、営推先月 8 月 23 日のヒアリングを踏まえた東海L3 の審査スケジュール案が 8 月 27 日に
0:02:24	日本原電より提出がありましたが、ちょっとそれについて今一度ちょっとヒアリングをさせていただきたいと思います。前回の今回お伝えしたいのは前回の
0:02:37	ヒアリングで限度我々で合意できているであろうと考えてる。あと 2 点について、大きいという 2 点について、その 8 月 27 日にちょっと提出された。
0:02:55	資料スケジュールにはちょっと反映ができてない部分があるかと思ひまして改めてちょっとお伝えをするということを考えております。
0:03:06	その 2 点ですが、一つ目は、
0:03:11	基本的に説明資料の構成については、審査を円滑に進める観点からも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:20	審査終わっている原燃のAIIにですね、人処分のし資料等は基本的にコーセーを合わせて欲しいというのが一つ名の合意事項だと思ってますんで。
0:03:38	この点につきまして、スケジュールの、例えば十条の第4号の補足を見ますと、
0:03:46	例えばこの発足後に原燃の資料ではなかった水理っていうのが入ってきたりとかしてまして、
0:03:54	ちょっとこちら辺ですね、考えがもしあるのであればお聞かせいただきたいなと思えているんですけども、
0:04:04	現在のほうへありますでしょうか。
0:04:15	現在ノグチでございます。通水量につきましては、補足とか痛いと思ってございまして、今410条4号のですね補足1に地質環境等の状態設定というものがございまして。実はですね、杉の話につきましては、
0:04:32	地質環境等の状態設定の本文とか、それから補足説明資料の1次で要点を説明してそれ以外の詳細なデータをおそらくを通してですね、ページに載せるという方針にしたいと思っておりますので捕捉率の中の
0:04:46	添付1という形で整理をつけたいというふうに思っております。以上でございます。
0:04:56	規制庁スゴウです。
0:04:58	整理に関しては、わかりましたっていうかあれですかね、水理も基本的には10条4号以外にも関係してくる話だと思ってまして、十条で言えば3号のほうでアクセス2号ですかね。
0:05:15	3号からの廃止措置開始前までの評価ですとか、
0:05:21	それから
0:05:24	旧30°傾斜地です。
0:05:29	そうだと思います。12町の観測でですね、今後その地下水の測定どうするかっていうところにも関わってくるような話で、十条四、五だけに限るものじゃないと、こちらでは考えてるんですけども、
0:05:46	そこは原電としても同じ考えっていうことでよろしいですか。
0:05:54	原燃の野口でございます。そのように考えてございまして4号だけに関係しているというものではございませんで、他の条項にも関係者的に我々が考えてございます。以上でございます。
0:06:05	規制庁のスゴウです。そうすると先ほどあの補足1のほうに整理入れ込むっていう話だったんですけども、補足一位はあくまで
0:06:17	14号の廃止措置の開始後の評価をするための状態設定をするための資料ということなので、その水位が評価期間。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:30	においてどうなるのかっていうような観点から補足 1 には、記載がされるって いうそういうふうに我々理解しておいてよろしいでしょうか。
0:06:59	現在ノグチでございます。今おっしゃったところはその通り考えてございます。 ただですね例えば授業の 3 号とかですね 12 条のところはもう整理関係するん ですが、そこにも水位を添付するのではなくって掘って 4 号炉補足 1ー添付 1 につけた整理から呼び出さそうといったような形で、
0:07:18	整理していきたいと思っております。それでよろしいでしょうか。
0:07:58	では
0:08:00	規制庁のスゴウです
0:08:04	あれですかね普通に考えると、
0:08:08	条文上から適切などころにまず入れて調べ読み込むならそこを読み込んでい けばいいと思っはいるんですけど。
0:08:19	そこは
0:08:21	説明のされ方で、
0:08:26	かとは思いますが、14 号が未多め今メインに。
0:08:32	説明するから、そこで記載をしておくっていう考えなんでしょうか。
0:08:40	原電ノグチでございますがその通りでございます。
0:08:45	規制庁のスゴウです。
0:08:47	そこはちゃんとほかのところ読み込み読み込みができればと思う。しっかりし てくれればとは思いますが、
0:08:56	ちょっと気になるのは、
0:08:58	10 条 4 号、
0:09:00	はあくまで廃止措置の開始 5 の評価なので、
0:09:05	どちらかと先ほど申し上げた通り、評価期間中どういうふうに、その地質環境 とかが変わっていくのかっていう、そういうものをちょっと説明してもら資料な のかなとは思ってるんですけども、
0:09:21	しっかり嫁読み込みができているような構成にしてくれるというのであれば、 過去構わないかなとは思いますが。
0:09:33	ここに何か整理の、
0:09:36	場所とか説明資料の赤順番とかで、
0:09:41	何か御意見とかありますか。
0:09:48	規制庁コサクです。まずスゴウが言った通りではあるんですけど、
0:09:56	やはり各条において説明すべきことっていう視点が少し違ってくるので。それ がちゃんと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:06	4号補足1という中で入り込んでいるのかっていうことがポイントだと思いますのでこれまでのヒアリングで原電から言われているところと言うと変動がないので、基本的に一緒だという。
0:10:24	認識でおられるんだとは思いますが。
0:10:27	そのあたりもですね、しっかりと各フェーズでどうなのかということをお願いしていた中でわかるようにしていかないと呼び込みというのもしっくりこなくなってくるということだと思いますので、
0:10:43	呼び込む部分については、しっかりと補足1の中で、その部分も語られるということで作っていただければと思いますので、
0:10:56	説明がもう十条4号が最小になりますので、それでお聞きした上で、また
0:11:07	金利上13条だったり、
0:11:10	そういったところで聞いていけばですね、不足があれば、その点また指摘はできるということだと思いますので、まずは減でしっかりとまとめていただければと思います。以上です。
0:11:24	県連60でございます承知いたしました。
0:11:29	規制庁スゴウです。推理の花Cは、今話をした通りなんですけどその全体の方針として、
0:11:38	基本的には
0:11:41	L2の
0:11:42	鳥栖就業の構成を合わせるっていうふうに
0:11:46	してもらいたいなどは思って、前回のヒアリングでも本当にそれで合意されるとは思うんですけども、そのその資料の作成の考え方で、建物の中でそれでもやっぱり我々こうしたいんだとか何か原電のほうで、
0:12:06	その中で、
0:12:08	考えがあるんであればちょっと説明をお願いしたいんですけどよろしいでしょうか。
0:12:24	原電ノグチでございます。ええとですね減産等弊社のですね、資料構成の比較というのは行ってございます。その中にですね、我々にちょっと埋設の施設ですね、概念っていうのは、
0:12:39	となってくるので、その辺のあるものと同じものがございます。それを踏まえた上で現状の整理というふうになっております。そこでですね、何か定義がございましたときにも出席していただければですね、こちらのほうで回答させていただきたいと思います。以上でございます。
0:13:06	規制庁のスゴウです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:08	なお、ピットとトレンチの処分の違い仕方とか等地下水がどこにどの辺の深さまであるとかいろいろL/Dと違ってっているっていう点は重々承知してるんですけども、
0:13:25	調査の例えば前回のヒアリングでも、
0:13:31	補足で
0:13:34	地質環境に係る状態設定のどこでしたかね。今評価期間が違うんでないんですっていう話のときに、資料としてはきちんと用意して何でそのまま設定しないでいいのかとかですわね。
0:13:49	考え方をしっかり設定する必要がないという考え方とかをしっかりと説明資料の中で述べるようにっていうような話をさせていただいたと思っておりますので、
0:14:06	の違い施設とか設置場所の違いから、どうしても必要がないっていうものは、そういうところをちゃんと資料の中で説明さしてくれればいいと思ってるんですけども、そこは
0:14:21	同じ
0:14:24	認識と理解しておいてよろしいですか。
0:14:28	でね。
0:14:30	原電の野口でございます。その通りで考えてございます。以上でございます。
0:14:37	はい、規制庁のスゴウです。
0:14:41	資料の構成についてですねホッカーに持って意見とかあればお願いしたいんですがよろしいでしょうか。
0:14:54	規制庁の古作ですけど、
0:14:57	今スゴウが確認したところで認識終わってるっていうことであればいいんですけど。
0:15:06	その前に原電から説明されたものだと違いがあるので
0:15:11	違うように構成している場所がありますけど、疑問があるんだったら聞いてくださいって言われると何だかよくわからなくてですね、違いがあるなら何で違うのかっていうのをちゃんと個別に
0:15:23	ここがこう違いますんでもこういうことだからであってって説明いただいたほうがいいと思うんですけど。
0:15:30	なんでそういう説明ができずに泊と言われるのかなっていうのはすごい疑問だったんですが、
0:15:36	その対応って何なんですかね。
0:15:47	ちょっと
0:15:48	限度内でございます。大変失礼いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:54	ところについて、ちょっと構成が違うところもございますので、当社とそれから原電さんとの違いについて簡単に御説明させていただきたいと思えます。
0:16:13	保険いっぱい日本一の河川のコアシです。別途十条用語について少し相違点のほうを設定をさせていただきます。
0:16:22	補足 1 から補足 2 補足 3、補足 4 までは同じなんですけど最後の補足 4 ですと、埋設する廃棄物参った状態設定の状態変化の評価で原燃さんは力学的影響と、
0:16:38	化学的影響で分けて即 4 と、そこに分けます。ただ弊社ですと、そのあまり状態変化の評価に関して、障害児長期の状態設定の説明をしないというところがございまして、この分けるほどの量が
0:16:54	内ということもございまして、ここまとめさせていただいて、東海としては我々として今考えてるのは力学的影響の中で特に陥没影響のところはこれ詳しく説明させていただきたいと考えております。
0:17:08	補足 6 につきましてですがこれ減産透水係数の設定をしておりますが、我々ですと 1000 年後の補正係数がどうなるかっていうのを力学的顔的影響を踏まえて積極的に改めてしない予定ですので、ここは
0:17:23	添付しないという、発生しないという形でまとめさせていただいております。例えばコサク補足 7 につきましては、これ原燃さんですと線量評価パラメーターの埋設するなしの設備が流出する医療への評価してございまして、我々の施設ですと、
0:17:39	帯水層流れに水位がございまして、基本的には雨水等の
0:17:48	それで少し減産と水の流れが異なりますので、ここは説明の資料が必要ないというふうに考えてございまして、今受けていないつけるわけがないというふうに考えて、
0:18:00	また補足 8 の分配係数ですが、こちらについては、今我々は戦力パラメーターの中で作成すると思えてございましてそちらのほうで添付させていただきたいと思っております。
0:18:13	14 号に関しては、今言ったようなところにそういうございまして、少し構成が異なって条件ます以上でございます。
0:18:28	規制庁コサクです。説明ありがとうございます。今後は最初からそういう説明を
0:18:36	主体的にさせていただけるように思えます。
0:18:42	同補足 4ー状態変化の評価っていうのを分けずに求めるということ自体は別に構わないと思えますし、まとめた際にですね、それぞれの視点をしっかりと語っていただいた上で細くて十分。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:58	この補足で十分であるということの説明をしていただければと思うんですけど、この敷設メーカー資料定期が3月になっちゃっていて、それで十分かみたいな話がずっとここまでできない。
0:19:15	っていうのはよくないと思うんですけど。
0:19:18	その件ではどう考えてるか補足3でそういう話があった上での附属4か。
0:19:26	そこはどう考えんなってますか。
0:19:32	日本原子力発電の更新です。基本的には補足3ー影響事象分析の中で力学的影響化学的影響というのを説明した時だというふうに考えております。ただ先ほど申しましたように過誤提供については、これ解析を行った上で、
0:19:48	透水係数に影響がないということを説明する上で今板の間にその検討を行っている最中でございましてその結果、最終的に出るのが少し増えてしまうということがあって、3月の提出を予定させていただきます。ただ
0:20:04	従前からのご要望がありましたように、
0:20:07	できるだけその条件ですね。はい的に使う要件ですとか、上記そういったところの説明は
0:20:15	させていただこうと考えておまして今ですと10月に一旦補足説明資料の4として、このかけるところまでを書いて含めさせていただくことを考えております。ここは経営層、
0:20:31	スケジュールとしては皆をさせていただきたいというふうに思っております。以上でございます。
0:20:37	はい。規制庁局ですわかりました。
0:20:42	同じようにスケジュール変更考えてるところがあったら聞かれる前に言っていたいたほうがいいのかと思うんですけども変わりますか。
0:20:57	はい。現在ノグチでございます。
0:20:59	そうですね。第7条5火災のところです、今は2回に分けて提出予定にはしてましたけれども、これを1回まとめたというふうに考えてございます。ですので、11月の下旬に資料提出して、ヒアリングは12月。
0:21:16	それから審査会合につきましては、今のところ3月の下旬ということで考えたいと思っております。
0:21:24	以上でございます。
0:21:29	規制庁コサクです。おりました。それはあれですかね。
0:21:34	今年度の
0:21:38	設計結果に基づくと言っているのが比較的早く整理ができてっていうことでよろしいですか。
0:21:49	原料ノグチでございます。その通りでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:54	規制庁直接起こりました。
0:22:00	あとは第 10 条第 4 号の話にも道路させていただくと。
0:22:10	補足 78 のもので
0:22:15	原電ではというところでお話がありましたけど、
0:22:21	まずここをそこに至る前にもう十分説明がされてプラスの倉庫であるというようなこともあると思いますので、そこはそんなに大きくそうなんですかね。
0:22:36	この補足に至る前に話ができることだと思うんですけど。
0:22:41	逆にその現状補足 7 で線量評価結果経年変化グラフと言われているのが、この拘束は一体何なんだろうかって逆によくわからないんですけど、この辺りはどう考えてるんでしょう。
0:23:01	日本原子力発電のハウチンでございます。
0:23:04	線量評価結果につきましては原燃さんも店舗補足の 10 と補足説明資料 10 として線量評価結果経年変化グラフっていうのを示されておりますので、同じような形というかたち形でまとめるという意味で、このところにつけているという状況でございます。以上です。
0:23:23	規制庁不足です。すいませんわかりました。疼痛いま 10 と言われたっていうことは先ほど説明が七、八だったと思うんですが、旧も説明ありましたっけ。
0:23:43	ちょっと
0:23:45	日本原子力発電のハウチンでございますけど、原燃さんの補足説明資料 9 はですね線量評価パラメーターパラメータポンプ故障がついてございまして、弊社のほうでもええと同じように線量評価パラメーターのパラメーターポンプ書をつけたいと思っております。以上です。
0:24:04	規制庁コサクです。すいません、私が今原燃のほうの資料のリストとか見てないから申し訳ないんですけど。
0:24:12	スポーツと今補足 6 って書いてあるのがね原燃でいう補足 9 になっていて、
0:24:21	ということですかね。
0:24:26	日本原子力発電のハウチンでございます。今、
0:24:32	そうですね 8 月の 27 日に提出させていただいた資料でいきますと、補足 7 が線量評価結果ごめんなさい補足 6 が線量評価パラメータになってございまして原燃さんでいうところの補足 9 になります。先ほどご指摘のありました補足 7 が懸念されるところの補足 10 になります。
0:24:52	以上です。
0:25:03	日本原子力発電のハウチンでございます。ちょっと引き続きちょっと補足させていただきますと、先ほど水利の説明についての補足資料 1 のほうの添付に移

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	したいというふうに申しあげましたので 8 月 27 日に提出させていただいたスケジュールでいきますと、
0:25:18	補足 5 に整理がございまして、補足 6 に線量評価パラメータ補足何線量評価結果というものを構成としてお示しております。これにつきましては補足午後の整理が上のほうにずれますので、補足 6 が補足 5 に繰り上がって補足 7 補足 6 に繰り上がるというような
0:25:37	監事スケジュール向性ちょっと見直したいと思っております。
0:25:40	以上です。
0:25:42	はい。
0:25:49	規制庁コサクです。
0:25:53	今後の原電の資料がこれ終わるということは理解
0:26:00	したんですけど、
0:26:02	原燃の
0:26:05	補足 8 までですかね、との対応関係の先ほどの説明。
0:26:11	何かもう
0:26:14	米があったのかなかったのかというのがちょっとわからなくなったので改めてちょっと簡単に言っているのので説明いただけますか。
0:26:26	はい。
0:26:29	はい。
0:26:30	日本原子力発電のコアシです。補足の
0:26:35	なんちゅうのは原則など遅くなる波源日本原燃の補足 7 につきましては線量評価パラメーターの埋設設備からの流出水量というのを説明してございます。こちらを原燃さんですと、岩盤から前誠実に流入した地下水が摩耗し、施設の情報としてこういう主張する。
0:26:55	全体の評価をする中での流出量推本評価になっておりまして、我々の東海L3ですと、上部から雨水が浸透水が浸透したものが下の帯水層に抜けるというような水位が全く逆の評価になっておりましてまた
0:27:11	本推進室が流出する水量につきましては、我々についてはそんなに評価として重要な説明を持たないんで、ここはパラメーターの中では説明をしますけど、改めて補足 7 としてまとめるということは考えてございません。
0:27:29	あと補足 8 ですが、減産これ線量評価パラメーターの分配係数をまとめておりますのでこちらのほう、非常にデータが多くて、また長期の評価の影響の評価もしておりますので、この補足 8 として、別途求めているものだと思う。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:44	考えておりますが、我々ですとこれを線量評価パラメーターの一つとして考えてメーター環境の中で説明していくということを考えてございますので、直後の中に加えてございます。
0:27:58	以上でございます。
0:28:06	はい、規制庁コサクです。
0:28:09	今言われた。
0:28:10	だところで減。
0:28:15	念頭を原電では状況が違って、あまり重要性を持たないのでって言われたんですけど、その重要性持たないということの説明はどの辺りでされているものでしょうか。
0:28:34	日本原子力発電のコアシです。まず長期状態設定というものを東海のヘリそんなことは考えていないということが一つですし、全体的な話で言いますと力学的鋭意価格的影響通しての影響事象分析というのは減免と同じベースでこれを説明することを考えてございますので、
0:28:52	この中で非常に説明をしたいと考えております。以上です。
0:29:00	規制庁、川です。すいません。
0:29:03	具体的にばどの資料のどっかでっていうと補足 120 説明される主に報告 1 で説明されるってということですか。
0:29:16	それから、
0:29:17	日本原子力発電のコアシです。基本的に補足 1 で全体的な水位ですとか、状態設定の環境の所掛かるところの説明になるんですが、先ほど申し上げました影響事象分析については補足 3 説明資料になります。
0:29:34	以上です。
0:29:36	規制庁の古作ですのバイました。補足-D1 から 4 で全体像が見えるのでそれにプラス説明するということで構成されてるものについては必要に応じてなのでっていうリッカー-etにばいいですかね。
0:29:56	日本原子力発電のコアシです。その通りでございます。
0:30:00	はい。規制庁コサクですね。わかりました。線量評価パラメータの根拠集なんですけど、これの構成もう少し原燃と違ってしているような気がするんですけどそのあたりはどう考えておられるんでしょうか。
0:30:25	日本原子力発電のコアシです。ええと線量評価パラメーターの構成はこれは原子炉ですと、補足 9 になるんですけど、基本的には同じにしようと思っております。ただ先ほど申し上げましたように分配係数が検査の人とかで別途まとめているものを我々、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:43	線量評価パラメーターの中に入れて説明するというのがございますので、添付という形で抜き出して説明をしたいと思っております。あとそれ以外の例えば埋設する廃棄体廃棄物の種類ですか放射能の設定。
0:30:59	あと原燃さんですと添付 2 で総放射エネルギーの設定を説明しておりますがこれも同じものを説明する予定ですし、ただジェネレーター内の廃棄体中のグローブの放射エネルギーの設定というのを、これ別途追加で行っているところがございますが、我々の当然袋の設定というは行っているんですがこれは
0:31:19	全体的な放射エネルギーの設定の中で説明させていただくことを考えてございますので、その点としてつけることは考えてございます。
0:31:27	あと、次の添付
0:31:30	原電さんでいうと添付 4 についてはこれは主要な放射性物質の選定のパラメーターの設定でこれを同じものを我々検討がずれるんですけど、つけて説明すると考えております。あと原燃さんですと添付 5-2、1 号のつくろう大手踏まえた廃棄体条件変更というのがあるんですけどこれ
0:31:47	エネサーブ特有の条件でございますのでとかL3には特に該当するものはないので説明を行ってございます。そういった意味では全体的に原燃さんと同じ構成で説明をするということを考えてございますが、先ほど申しましたように分配係数だけ少し添付
0:32:04	の事例にいらっしゃるのかと、あと原燃さん特有のものについては我々のところでは説明がないという構成になっております。以上でございます。
0:32:17	規制庁国立といった以後後備ました。
0:32:24	多少の
0:32:26	構成の違いなり工夫をされているということだと思っております。
0:32:34	基本的には
0:32:38	添付書類なりから整理資料があつてそれに補足添付とついてくるという全体の流れがあるかと思っておりますので、その辺りで必要なものを必要な場所となるように乗っていただければいいかと思っております。その点では、
0:32:56	整理資料の書き込みの中です、その順番に合わせてだつたりということはあると思っておりますので、提出いただいたところでまた見ていただければと思っております。
0:33:17	あと、規制庁の岡でございます。ちょっと今の議論に関連して鉄塔に低減法と、
0:33:25	確認させていただきたいんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:27	一つ目がこの分配係数を別途補足 5 新しく新しい分類でいうと、補足 5-別か添付 1 というふうに分類分けてる。その考え方なんですけれども、原燃のL2の申請の中では、
0:33:43	分配係数についてはその長期の状態設定に絡めて説明してきてるということで、線量評価パラメータよりも前にへと一つ補足説明資料をつけて説明をいわゆる長期的に環境がこう変化するので分配係数が変化していくっていう説明をされたと思うんですけれども、
0:34:01	今回その
0:34:04	補足説明資料としてお出しせずに、線量評価パラメーターの添付 2、あれこれ分類したというのは、分配係数に関しては長期の状態設定を行わない必要ないから、そういう整理をするということによろしいですか。
0:34:20	日本原子力発電のコアシです。東海リースさんですと、分配係数の設定についてはまだ完璧な影響というのは当然のことながら影響事象分析の中でどういったものの影響があるかというのは説明させていただきたいんですが、基本的にはパラメータ設定に引き受ける試験条件ですとかそういう中で、
0:34:37	包含されているというふうに考えてございますので、減産のような初期状態積極マイカー意見の評価というのを行わないので今、今申した申しましたようにパラメーターの設定の中で説明させていただくことを考えております。以上です。
0:34:53	はい規制庁の大塚でございます。ありがとうございます。今分配係数に関しては長期の状態設定を行わないというふうに今おっしゃられたと思うんですけども、その理由についてはちょっと先ほどからも議論になってますけれども、補足 3-協調分析の中で、
0:35:12	内部障害部長網羅的にこう並べてそれぞれこういう理由で影響がないので、長期の状態設定では考慮しないと影響がない従って条件浄化減って行わないという説明がされると、要するにさ、
0:35:29	日本、日本で一番上のコアシですか。その通りでございます。
0:35:33	はい。規制庁の大塚でございます。わかりました。ありがとうございます。もう 1 点流出医療に関してええと先ほどの、先ほどご説明の中でこれは重要なパラメーターではないというふうに仰られたかと思うんですけれども、
0:35:48	これってその廃棄物埋設地から帯水層に抜けて組の放射性物質の量がこの抵当流出量リニアにきいてくると思うんでこれ線量評価上は重要なパラメーターだと思うんですけれども、その重要でないといった、ちょっとそのところを教えてくださいませんか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:08	日本原子力発電のコアシです。すいませんちょっと出現でしたので、重要ではないという意味ではなくてあげたように設定にあたって、説明を多分、必要とかの沢山データを元データに基づいて説明を必要とするものではなくて、当然線量評価上重要なパラメーター等認識してございまして、
0:36:28	ただもう原燃さんのほうでの沢山データに基づいた説明がないという意味で、そういった言葉を使ってしまって申し訳ありません。
0:36:38	あと、規制庁の大塚でございます。そうしますと、
0:36:43	今の説明承知いたしました。そうしますと、いわゆるその帯水層に入ってくる水の量をどのように計算したのかっていうのは、これはどこで説明されるのでしょうか。
0:37:02	今現状かというのはコアシです。今ですと、線量評価パラメーターの設定の中で説明させていただくというふうに考えて、
0:37:10	すみません。
0:37:12	或いはですね、
0:37:15	92号3号の設計の中でももう少し触れさせていただく。
0:37:20	かもしれません。
0:37:22	ちょっとまだ今、ハママツすみません今検討しているところでございますので、明確に申し上げられないんですがどこかで説明をさせていただくというふうに考えております。
0:37:32	はい。規制庁の岡でございます。承知いたしました。で、最後にですね、原燃のL2棟を原電のL3でその施設概念設計も違うのであるものないものがあるというふうにごうとおっしゃっていて、それはその通りだと思ってる。
0:37:48	もうこちらは技術部門等いろいろ検討していく中で一つの原電L3で難しいなと思ってるところが原燃のL2のほうは体製造の中に固着付けになる評価になっているように
0:38:05	入ってきたんですが、どういうふうに
0:38:08	ホスティングリスト化してということができるのかって評価は周りの方は評価できるんですけども、このL3のトレンチの場合にはその不法型への設置になるので、そのそのモデル上の扱いをどうするのかってのは一つ、きちんと確認しないといけないなと思ってるんですけども、
0:38:26	そのその要は入ってきた水がどう応接室をとらえていくのかってそのそのモデル上の扱い速報値でのモデル上だったっていうのは、今回の構成というところで説明される予定でしょうか。
0:38:46	日本原子力発電のホウチンでございます。今回来それ評価モデル評価式の説明になるとござい思いますので。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:55	こちらでいきますと 10 条第 4 号の本文のところでは原燃さんも評価式のほうを記載してございますが、同じようなところで、本文のところでは記載することになるかとごさい思います以上です。
0:39:07	規制庁の長田でございます。当扱いについては承知いたしました。で、その時にですね一つお願いが原燃の L2 のほうは、基本的にその使ってるモデルは既許可と同じモデルなので、あまり大きな議論にはならなかったかとならなかったんですけども、
0:39:24	今回その不法体に設置するということで、そこをどう考えてるのかっていうのは少しきちんと議論しなければならないところではあると思いますので、今回その提出されてるのは、これは、
0:39:39	まとめ資料なんです。
0:39:40	当然には
0:39:43	その説明される時にですね、ちょっと丁寧な説明資料作っていただければと思います。これはお願いでございます。以上です。
0:39:52	日本原子力発電のハウチンですけどさせていただきます。
0:40:00	規制庁の都合でその他
0:40:03	この資料構成で何かコメント等ありますでしょうか。
0:40:13	よろしければ、前回のヒアリングでもう 1 点、合意できたかなと思っているのがあって、この審査の塊の話をちょっとさせていただいたと思ってるんですけども、
0:40:28	まず一つ名の固まりとして、
0:40:32	2 条の安全機能の話、六条の外部衝撃 8 条の遮へい十条の
0:40:42	評価のところと、それから 13 兆
0:40:47	排水排気施設のこれも評価のところ、これ
0:40:53	お互いちょっと関係するところがあるんですこれをちょっと一つの固まりとしましょうっていうことと、その次として、
0:41:02	7 条、火災球場異常値だと 11、
0:41:09	1045
0:41:12	というのが、もうひとかたまり次の塊っていう話をちょっとさせていただいたと思っ てますんで、あと残りということなんですけれども、
0:41:22	8 月 27 日に神楽されてるスケジュール見ると、その一つ目の固まりと二つ目の固まりすべてちょっと 2 月のところに星マークで審査会合ということで、
0:41:39	示されてるんですが、
0:41:41	ここちょっとどのように考えてらっしゃるかちょっと説明いただいでよろしいですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:49	現在ノグチでございます。どんなG審査会合ですべて辞職と考えたんですけど、ちょっと関連性のあるものとそれからちょっと間、それとするものと二つに分けたいというふうに考えておりますので、修正させていただきたいと思っております。
0:42:07	結果としましては、第 70 号
0:42:10	それから、第 9 条から第 11 条－14 条 15 条。
0:42:16	幾つにつきましては、2 月ではなくて、3 月の末に審査会合をお願いしたいというふうに考えてございます。このように修正したいと思っております。以上でございます。
0:42:28	規制庁のスゴウです。そうすると予定が 2 月に一つ目の方も 3 月に二つ目の固まりで、
0:42:37	4 月の末に残りっていう、そういうスケジュールを含まれるということだと思しますので、
0:42:46	二つ目の固まりのところはおそらくその一つ目のところの十条の宿題回答とかも、おそらく必要になってくると思いますので、
0:43:00	そうするとまあそこそのボリュームもあるかなと思うので、3 会議を受けるっていうことはいいと思います。
0:43:10	この点何か
0:43:12	規制庁から。
0:43:14	伝えておくこととかあればお願いします。
0:43:28	規制庁コサクです。産科医分けること自体は前回こちらからも申し上げていますので、それで構わないんですけど、実際の進み進め方っていうとヒアリングを踏まえてですね、いつぐらいに
0:43:44	ただほうがいいかっていうのは、またお話したほうがいいかと思しますので、
0:43:52	今年中にある程度の資料が出てくるようですから、それを踏まえて、また随時話ができればと思ってますし、します。
0:44:05	現在ノグチでございます承知いたしました。
0:44:11	規制庁のスゴウです。
0:44:13	その他先日提出された支出スケジュール関係でコメントとかありましたらお願いします。
0:44:31	よろしいですかね。
0:44:33	貯槽例っていうのは、
0:44:37	このスケジュールは今コサクから話があった通り、指定された資料を見て、それは審査会合場合によってはとかもあり得るとかもあるんで。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:51	ちょっとそこはあれですけど、スケジュール、今の予定で言えば2月の末に審査会合をするということなんです、
0:45:05	ちょっと設計変更大きな設計変更もあるってということ、
0:45:10	あるってということっていかあれば、
0:45:14	そうすると、あと、我々の
0:45:17	基準の去年一昨年ですかね、変わって、それへの対応ということもあって、都市説明としては、
0:45:28	おそらくっていうか、大体一通りまたちょっと説明をしていただく必要があると考えているんですが、
0:45:36	一つの大きく、設計が変わるっていう話と、これまでの審査も踏まえて、こういう論点がありますっていうことは、
0:45:45	ちょっとその2月の前に、審査会合
0:45:50	しておいて、
0:45:53	何ら支局必要があるかなと私たちは思ってるんですけども、
0:46:00	原電でもそのような審査会以降をすること等についてちょっと
0:46:09	ましよう長期いただきたいと思ってるんですが、
0:46:13	よろしいでしょうかっていうと変ですけど。
0:46:16	どうでしょうか。
0:46:19	現ノグチでございます。設計変更に入りましてしばらく期間いけますので、設計の概要について御説明できます。まずその点につきましてはまず出させていただくということが大切かなと思いますので、了解いたしました。それから
0:46:36	議論になりそうだとかですね、これまでのヒアリングの中で幾つかご指摘いただいておりますので、例えば津波の規模とかですねそういったものもありますので、そういった我々は考えている議論となりそうなポイントについて説明方針も簡単に御説明するという形をとりたいという思っております。以上でございます。
0:46:56	規制庁のスゴウです。
0:46:58	ちょっと具体的に一通審査会合をするとかかですね、ちょっとまだ決まってないんで、その辺は決まり次第ご連絡差し上げますが、審査会合に向けて、その今言った設計変更の話ですとか大きな論点、
0:47:17	の話論点をいつぐらいに今回、今日やったスケジュール踏まえてですねいつぐらいに審査ができるのかっていうところぐらいまではちょっと自己紹介いただければと思っておりますので、ちょっと資料の準備もお願いしていればと思います。
0:47:36	電源ノグチでございます。承知いたしました。
0:47:40	規制庁のスゴウですが、その他の規制庁側から何かありますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:49	規制庁、古作です。今の話と、あと、このスケジュール表で、9月中に出しと言われている資料、
0:47:58	あたりが次のヒアリングでどうやっていくかということになると思うんですけどそのあたりは、
0:48:08	どう考えになるかを
0:48:10	お聞かせいただけますか。
0:48:16	ずっと電力値でございます。今のところですが要求通り進めてございますので、20屋上それから数字については、やはりのみということで出したいというふうに思ってますので、それからハママツになっておりますが、表彰方変わる形で御提示されてるそうさせていただきたいと思ってます。
0:48:33	その後ですね、今の予定表から見ますと10月下旬ぐらいにヒアリングを行っていただければというふうに考えてございます計装下げるにつきましては20どうそれから9条の745の中ですぎという形にさせていただければというふうに考えてございます。以上でございます。
0:48:53	規制庁、古作です。／先ほどスゴウから言ったように審査会以降の実機をいつにするかっていうところもあるんですね、その前にヒアリングを設定させていただければと思ってますけど、いずれについても今言われたところも資料提出されればですね。
0:49:11	その中身を見て設計ということになるかと。
0:49:16	ちなみに、
0:49:17	ある程度の提出時期とかは固められてますでしょうか。
0:49:28	現在ノグチでございます率いノムラの確定がしてございませんが、その時期ぐらいには確実にできると考えてございます。それから先ほどの概要ですね、設計の変更の内容につきましては、今資料作成を進めておりますので、早ければ、
0:49:46	はい。
0:49:48	はい。
0:49:49	今週末ですね、11には、提出させていただきたいというふうに思っております。以上でございます。
0:49:58	規制庁即日起りました最初に言われているもの持ってるも早めに時されるものがあるんだっていうので。ちょっとびっくりしたんですけど、わかりました状況また事務的に連絡いただいて準備を進めていければと思います。よろしく願いします。
0:50:20	規制庁のスゴウです。他よろしいでしょうか。
0:50:26	それから現弁の方から

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:29	今聞いてを食う話とかありますか。
0:50:37	原電ノグチでございます。特にございません。
0:50:39	はい、規制庁のスゴウですでは以上をもちまして本日のその前にあれですね、今日指摘踏まえて、またちょっと審査スケジュールを提出してもらえればと思いますので、そこはよろしく願いいたします。
0:50:54	審査スケジュールの再提出五つぐらい考えていらっしゃいますでしょうか。
0:51:00	。
0:51:02	原電のうちにございます。本日準備をうけいたします。以上でございます。はい、規制庁のスゴウで範囲にはよろしく願いいたします。
0:51:10	それでは以上をもちまして本日のヒアリングを終わりにします。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。